



選定ラボ概要

- ① 慶應義塾大学
- ② 帝京大学
- ③ 東京家政大学
- ④ 日本体育大学
- ⑤ 明治学院大学

※五十音順





テーマ

「木と気」の学びプロジェクト

ー自然・身体・環境とのつながりに気づき、本来の個別最適な学びに向かうための包括的調査研究ー

検証内容

子どもの認知特性や興味関心を可視化しつつ、地域の自然・文化・風土を教材にしたプログラムを実施し、興味・体験・学びが循環するモデルを検証

対象

小学4年生～中学3年生

実施時期(予定)

R7年10月～12月(8回)

主な実施場所

日野市内・多摩市内

活動概要

活動内容

自己理解につながるアセスメント
ツールを活用しつつ、地域資源を教材とした探究学習につながるプログラムを実施する。

活動イメージ(実施内容の例)

第1回	君もULTLA ー自分学入門ー	自分の特性や興味関心、 学び方のヒントを知る
第2回	地図を持って散策 (地理・社会)	丘陵を歩き、地質の成り立 ちや街の作りを想像する
第3回	川辺で火を起こす (歴史・科学)	縄文時代の方法で火を起こ し、燃焼科学・元素を学ぶ
第4回	修理する (ものづくり・算数)	身の回りのものを解体し、 仕組や構造を理解する
第5回	畑の野菜と野草を解剖する (農学・生活・植物学)	植物・野菜・野草を比較し、 自身のバイオリズムを学ぶ
第6回	動物を演じる (アート・国語・生物学)	動物園で動物になり切った 詩を作成し、朗読する
第7回	信号を解読する (テクノロジー・エンジニアリ ング)	鉄道・線路・道ばたの信号を 解読しながら、自分の心身 が発する信号に目を向ける
第8回	アセスメント (ふりかえり)	自分の中の変化とこれまでの 活動を紐づけ、理解する



テーマ

子どもの視点と関係性を広げるICTを活用した未来創造プロジェクト
ー心理社会的観点に基づく子ども理解と支援のあり方の検証ー

検証内容

ICTを活用しながら、子どもの興味・関心を引き出すプロジェクト(テーマ:未来創造)を実施し、子どもの視点と関係性を広げる手法を検証

対象

小学3年生～中学3年生

実施時期(予定)

R7年9月～12月(8回)

主な実施場所

協力フリースクールまたは大学

活動内容

子ども一人ひとりに学生が伴走する形式で、ICTを活用して未来のイメージを創造するなど、子どもの興味・関心を引き出す取組を実施する。

活動イメージ(実施内容の例)

第1回	未来を創造しよう！①	「自然に触れる」 ・寄せ植えてイメージをした後に、実際に植物園に足を運ぶ
第2回	自然に触れる①	
第3回	自然に触れる②	
第4回	未来を創造しよう！②	「創造する」 ・未来を形にするレゴ制作、プラネタリウムを体験
第5回	創造する①	
第6回	創造する②	「未来を創造しよう！」 ・興味関心のある領域の未来のイメージを、ICTを活用して視覚化する
第7回	未来を創造しよう！③	
第8回	発表会 未来都市に行こう！	

活動概要



テーマ

表現活動を通じた社会性向上への試み

検証内容

「好きなこと」や「得意なこと」を起点に、「美術展」形式の表現活動を実施し、共感・自己肯定感や社会性の向上につながる手法を検証

対象

小学4年生～中学3年生

実施時期(予定)

R7年9月～12月(8回)

主な実施場所

協力フリースクール

活動内容

個人・グループで制作した作品を「美術展」の形式で他者に紹介し、「いいね」や感想といった気持ちをかたちにして贈り合う活動を実施する。

活動イメージ(実施内容の例)

第1回	自己紹介・AIリテラシー	【個人活動・導入】 ・AIリテラシーを学ぶ ・自分の名刺づくり
第2回	住みたい家	【個人制作と発表】 ・表現したいものを考える ・作品づくり
第3回	住みたい星	
第4回	展示&交流	【第1回美術展】 ・作品の美術展 ・紙ハート「いいね」等の交流
第5回	スクイグル法での制作	【グループ制作】 ・くじでグループ編成 ・グループで美術展の方向性を話し合う ・各回で異なる手法を用いて作品制作
第6回	コラージュ法での制作	
第7回	MSSM法での制作	
第8回	展示&交流	【第2回美術展】 ・グループ作品の美術展 ・再び「いいね」等の交流

活動概要



テーマ

遊びで自らのからだを感じて知って考える！

検証内容

子ども自身が「遊び」によるからだや生活の変化を感じて知って考える活動を実施し、効果的な活動(からだの学習)の手法を検証

対象

小学1年生～中学3年生

実施時期(予定)

R7年9月～11月(8回)

主な実施場所

協力フリースクールとその近隣

活動内容

屋内外での「遊び」前後で、心拍数、体温等を測定し、子ども自身がからだや生活の変化を感じて、知って、考える活動を実施する。

活動イメージ(実施内容の例)

第1回	自分のからだを感じよう	心拍数、体温等を測って知る
第2回	からだを使って遊ぼう①	屋内施設で遊具を用いて遊ぶ
第3回	からだを使って遊ぼう②	
第4回	屋外で活動しよう①	屋外施設で散歩を中心に活動する
第5回	屋外で活動しよう②	自然の中で活動する
第6回	みんなでモノづくり①	仲間で協力してものづくりを行う
第7回	みんなでモノづくり②	
第8回	仲間のからだを感じよう	心拍数、体温等を測って知る

活動概要



テーマ

社会力の育成を通して、キャリア意識を向上させる活動
—大学生と関わり、共感能力を高め、自己理解を深める—

検証内容

社会力(社会を作り、運営し、絶えず作り変える力)の育成につながる活動を大学生
パートナーとともに実施し、子どもの「キャリア意識」がどのように変化するかを検証

対象

小学5年生～中学3年生

実施時期(予定)

R7年10月～12月(8回)

主な実施場所

大学

活動内容

大学生と一緒に、多様な他者と出会い、自分の気持ちと向き合うなど、
社会力の育成につながる活動を実施する。

活動イメージ(実施内容の例)

第1回	大学生のことを 知ろう①	大学生生活の楽しさを共有。ニックネーム付け
第2回	ボッチャ・ モルック体験	チーム対抗で遊ぶ
第3回	共創ゲーム	大学生と一緒にゲームを考え、実施
第4回	他者紹介動画 作成	大学生にインタビューして、紹介動画を作成
第5回	多様な他者 との出会い	乳幼児・障がいをお持ちの方・高齢者・外国人など
第6回	アニメ映画から の気持ち探し①	好きなセリフを選び、理由を共有。自分の気持ち等について言語化する
第7回	アニメ映画から の気持ち探し②	
第8回	大学生のことを 知ろう②	大学生の発表を聞き、知りたい専門分野を選ぶ

活動概要